



ポータブル門型クレーン  
取扱い説明書

品番 PMC 490A  
PMC 1000 A

○ この度は、(株)スーパーツール のクレーンを お買い上げ頂き有難うございます。

本書は、ポータブル門型クレーンをいつまでも快適にご使用頂く為に、正しい組立や取扱い・簡単な保守点検について記載いたしました。

組立前に、必ず、この取扱い説明書をお読み頂き作業の能率アップにお役立て下さい。

- \*1. ご使用前に必ずよくお読みになり正しくお使い下さい。  
警告表示や注意事項を守らないで不適切な取扱いをすると事故の原因となる事があります。
- \*2. お読みになった後は、取扱い説明書を大切に保管して下さい。

#### お願い

本書は、品質改良のために変更があった場合、内容が一部変更することがありますので、ご了承下さい。

## ⚠危険 ご使用される前に

ポータブル門型クレーンを安全・快適にご使用頂く前に、日常の管理と次の注意事項をお守り頂き、末永くご愛用下さい。

1. ご使用されるホイストは、必ず、ロードリミッター付きのクレーンの容量に合った巻上機を取り付けてください。  
クレーン表示容量は、**吊り上げ荷重**です。  
(巻上機・吊具質量を含むクレーンに負荷できる荷重です。)
2. クレーンのつり上げ荷重以上は、絶対に吊り上げないで下さい。
3. 吊り荷を吊る前には、必ず、車輪が4ヶ共ロックされているか確認して下さい。又、ビームは、必ず水平になる様に設置して下さい。
4. 吊り上げ時、吊り荷を揺らしたりしないで下さい。大きく揺らしますと容量以上の荷重がクレーンに働き、破損・転倒につながる可能性があります。
5. 不安定な場所での使用は、絶対にしないで下さい。
6. 使用範囲内に立ち入る時は、必ずヘルメットを着用して下さい。
7. ビームの下・吊り荷の下には、万が一の事を考えて立ち入らないで下さい。
8. 吊り荷を吊っての移動は、絶対にしないで下さい。  
(転倒・破損につながる可能性があります。)
9. ボルト・ナットによる組立箇所は、長年使用しますと緩みが起こる場合があります。  
使用前に確認してご使用下さい。(マーキングによる目視確認など)
10. 点検基準に基づいて、各部の点検を行って下さい。
11. 絶対に改造は、しないで下さい。(保証・保険の扱いが出来なくなります。)

## 警告表示の意味

◇**危険**：取扱いを誤った場合、危険な状態が起こり、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。

△**注意**：取扱いを誤った場合、危険な状態が起こり、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合及び、物的障害の発生が想定される場合。

なお、△**注意** に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載しておりますので、必ず守って下さい。

# 特長

1. 車輪が付いていますので簡単に移動できます。

品番 : PMC1000A  
 つり上げ荷重 : 1000kg  
 自重 : 124kg

注1) 組立用ボルト・ナット等は、ユニクロメッキとします。

品番	部品名	材質	硬さ	数量	外観	備考
7	ギヤードトオリ	標準	—	1	標準色	G-1 手鎖2.5m
6	自在車輪	ウレタン車輪	—	4	—	φ200 プレーキ付
5	組立プレート	A6063S-T5	—	2	—	—
4	すじかいA	A6063S-T5	—	4	—	—
3	台車	A6N01S-T5	—	2	—	—
2	ボール	A6063TE-T5	—	2	—	—
1	ビーム	A6N01S-T5	—	1	—	H形鋼 150x75x7.5

品名	規格	品名	規格	日付	備考
製品規格	—	アルミボーテアル門型クレーン	—	平成20年12月10日	—
—	—	—	—	PMC1000A	Free
—	—	—	—	—	—

株式会社 スーパー 株式会社 **スーパースーパー** TEL (072) 236-5521 FAX (072) 236-4531

品番 : PMC490A  
 つり上げ荷重 : 490kg  
 自重 : 104kg

注1) 組立用ボルト・ナット等は、ユニクロメッキとします。

品番	部品名	材質	硬さ	数量	外観	備考
7	ギヤードトオリ	標準	—	1	標準色	G-0.5 手鎖2.5m
6	自在車輪	ウレタン車輪	—	4	—	φ200 プレーキ付
5	組立プレート	A6063S-T5	—	2	—	—
4	すじかいA	A6063S-T5	—	4	—	—
3	台車	A6N01S-T5	—	2	—	—
2	ボール	A6063TE-T5	—	2	—	—
1	ビーム	A6N01S-T5	—	1	—	H形鋼 125x75x6

品名	規格	品名	規格	日付	備考
製品規格	—	アルミボーテアル門型クレーン	—	2022.5	—
—	—	—	—	PMC490A	Free
—	—	—	—	—	—

株式会社 スーパー 株式会社 **スーパースーパー** TEL (072) 236-5521 FAX (072) 236-4531

## 構成部品

出荷は、右図の様に

- ① ビーム 1本
- ② 柱 2本
- ③ つなぎ 4本
- ④ 台車 2台
- ⑤ 組立プレート 2個
- ⑥ ギヤードトロリ 1台

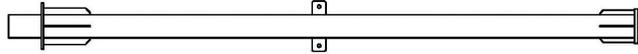
の出荷となっております。

組立前に個数の確認を  
お願いします。

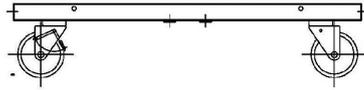
① ビーム 1本



② ポール 2本



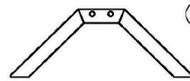
③ 台車 2台



④ すじかいA 4本 (1 set)



⑤ 組立プレート 2個



(1 set)

⑥ ギヤードトロリ 1ヶ



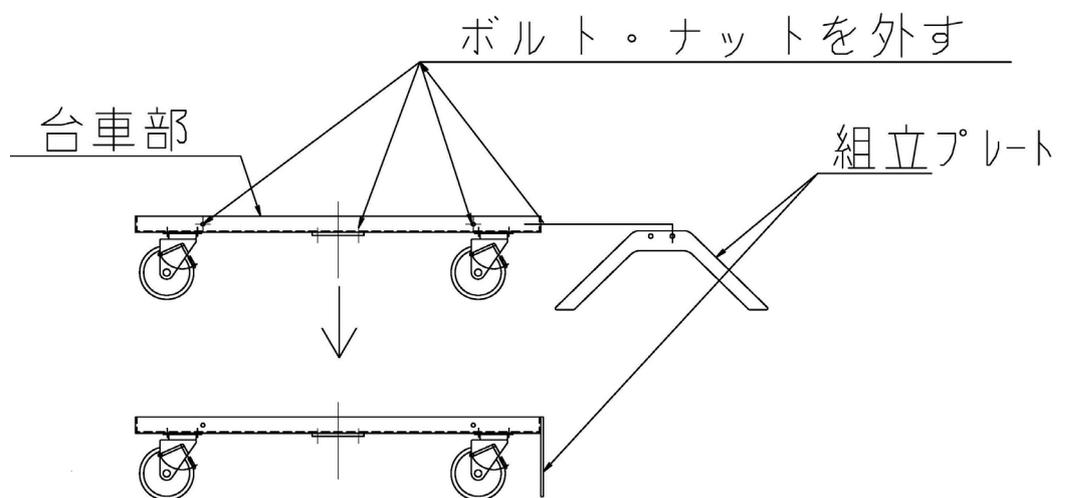
8ヶ□

## 組立要領 (2人以上で組立て下さい。)

### 【台車の組立】

台車に組立プレート (倒れ止め) を取り付けて下さい。(ボルトM16)

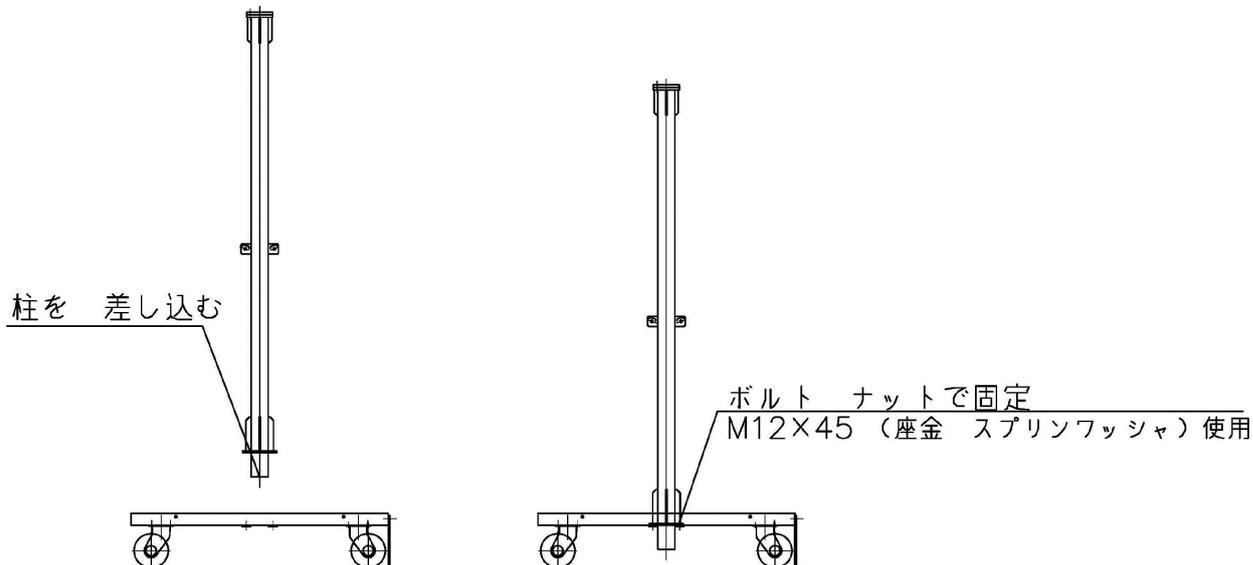
△注意 必ず、**車輪のブレーキをかけてから作業を行なって下さい。**



## 【台車に柱を立てる】

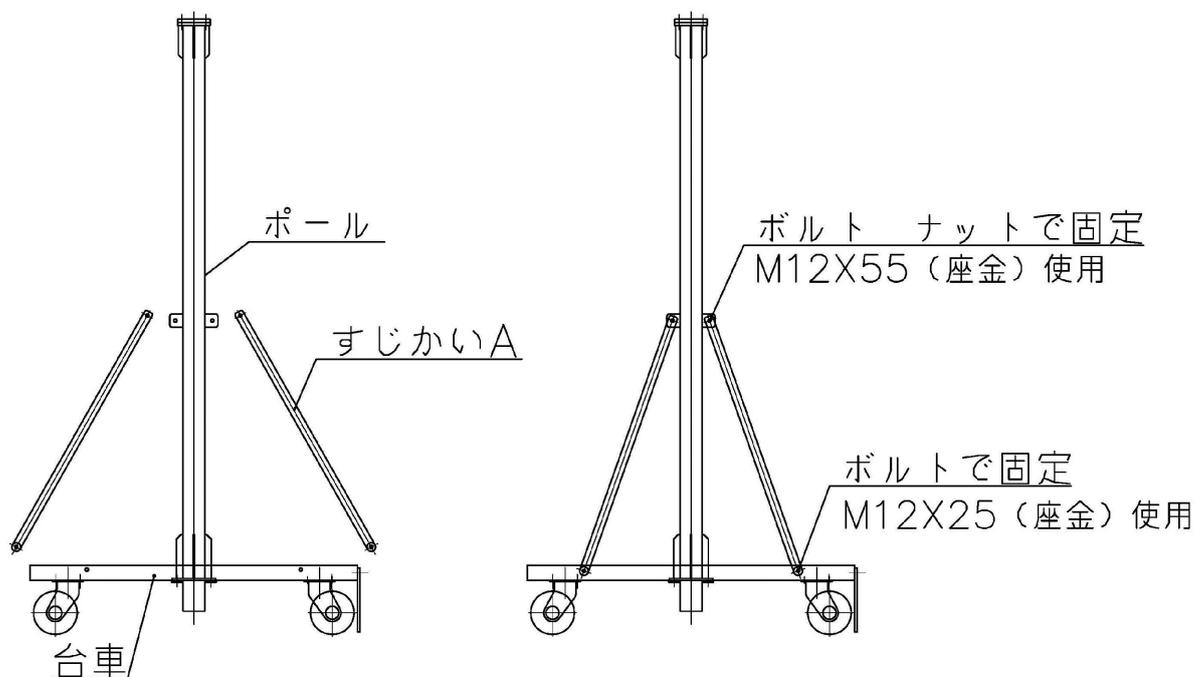
1) 次に、床面が水平な所で柱を立てます。

**△注意** 柱を2人以上で差込んで下さい。柱は、重量がありますので、指・手等を詰めないように、充分注意して作業をして下さい。



## 【つなぎを取り付ける】

2) 柱は つなぎを固定するまで倒れない程度に 固定して下さい。

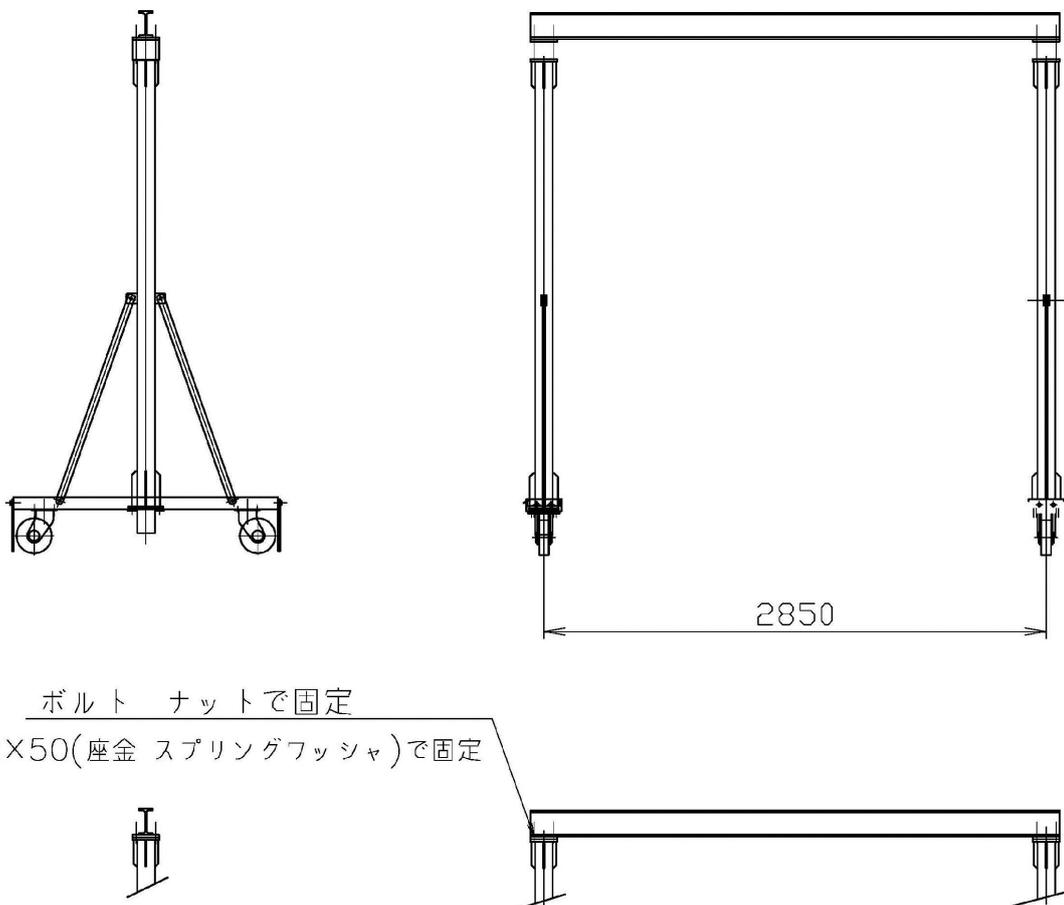


図の様に つなぎを固定し 柱の組立は 終了です  
ボルト・ナットを緩みの無いよう確実に締めてください

【柱に ビームを組み立てる】

柱の組立が完了した後、柱ピッチ約 2850mmで立てて下さい。

次にビームのフランジと 柱のフランジを合わせてボルト・ナットで組み立てて下さい。



⚠危険：ビームを連結するまで、柱は、転倒する危険があります。

本体が倒れない様、クレーン等で固定等し、充分安全に注意をして、作業を進めて下さい。

以上で 本体の組立は、完了しましたが、再度ボルト・ナットが確実に締まっているか確認して マーキング等を行って下さい。

⚠危険：フランジのボルト・ナットは、使用中緩むことのない様にして下さい。

ボルト・ナットは 後日の点検の為 必ず締め付け完了後 マーキングを行なって下さい

又 緩んだままでの使用は、重大な事故を招きます。

注意： 組立完了後は、組立プレートを外してご使用下さい。

## ギヤードトロリの取り付け

トロリは、必ず、本体組立完了後、安定した状態で組み立てて下さい。

トロリは、トロリに同梱してある取扱い説明書にしたがってご使用下さい。

### ◇危険 使用上の注意

- 1・組立プレートは、使用時、取り外してご使用下さい。
- 2・荷を吊り上げる時は、車輪を4ヶ所共、ロックしてからご使用下さい。
- 3・荷は、無闇に揺らしたりしないで下さい。
- 4・荷を吊り上げての本体の移動はしないで下さい。転倒・破損の危険があります。

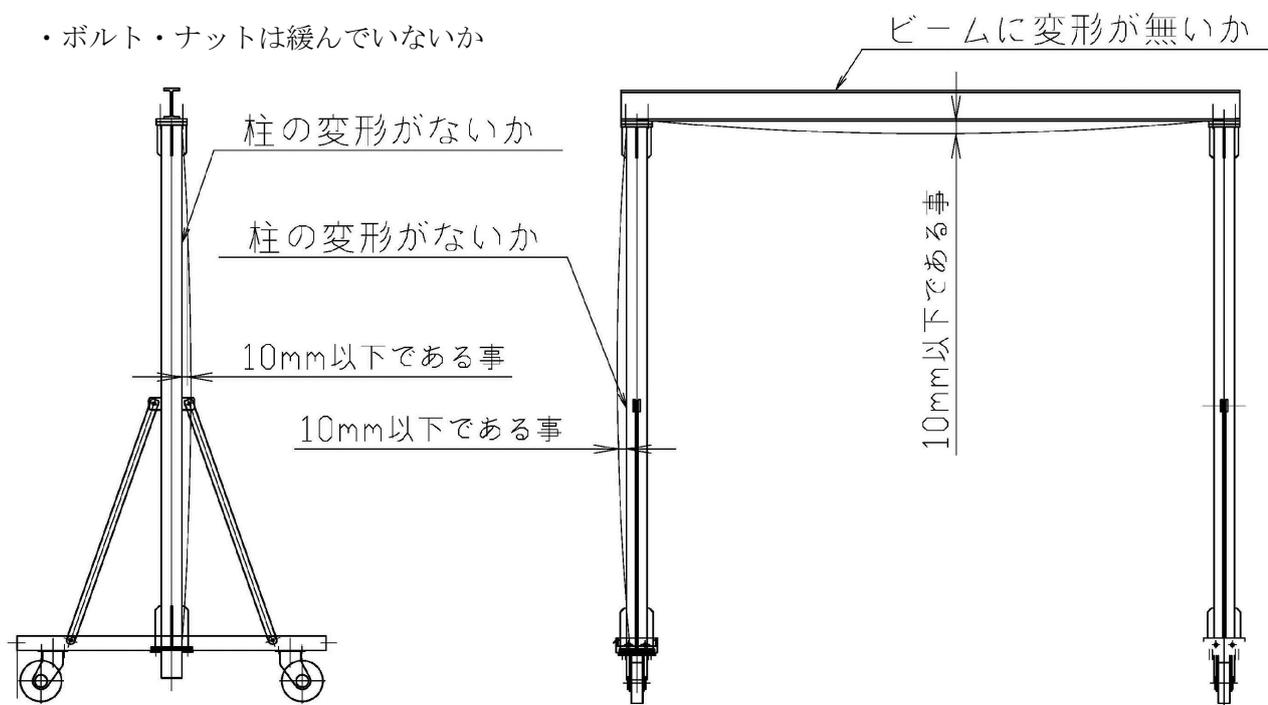
## 点検基準

### 作業前点検

- ① ボルト・ナットが緩んでいないか確認して下さい。  
(目視・・・マーキングのズレがないか)

### 半年点検

- ・溶接部に異常がないか
- ・変形がないか
- ・ボルト・ナットは緩んでいないか



上記点検結果、異常が見られた時は、速やかに使用をやめ、メーカー点検を行って下さい。

☆ギヤードトロリについては、別紙、取扱説明書を参照して下さい。

# 定期自主検査配録表

本表の検査周期は標準的使用条件を想定して決めています。早期に異状が発生した部位の検査周期は、より短くしてください。

区分	検査項目 検査内容	検査方法	判定基準	検査周期		年月日		年月日		年月日		年月日		年月日	
				毎	6ヶ月	良	不良	修理日	良	不良	修理日	良	不良	修理日	良
ビーム	始業点検全項目			毎日											
	フランジ部組立 ボルト	緩み・脱落の有無を調べる	緩み・脱落のない事												
	ピーム部	連結ボルト・ナットの損傷及び変形の有無を調べる 溶接部の亀裂の有無を調べる	損傷及び0.5%以上の変形がない事 亀裂のない事	6ヶ月											
柱部 (ポール部)	始業点検全項目			毎日											
	フランジ部組立 ボルト	緩み・脱落の有無を調べる	緩み・脱落のない事												
	柱部	連結ボルト・ナットの亀裂・変形及び摩耗の有無を調べる 溶接部に割れ、亀裂変形の有無を調べる	緩み・脱落のない事 亀裂・変形又は、摩耗がない事 割れ、亀裂変形のない事	6ヶ月											
すじ かい	始業点検全項目			毎日											
	組立ボルト	緩み・脱落の有無を調べる	緩み・脱落のない事	6ヶ月											
台車部	始業点検全項目			毎日											
	フランジ部組立 ボルト	緩み・脱落の有無を調べる	緩み・脱落のない事												
	台車部	連結ボルト・ナットの損傷及び変形の有無を調べる 溶接部の亀裂の有無を調べる	緩み・脱落のない事 損傷及び0.5%以上の変形がない事 亀裂のない事	6ヶ月											

検査実施者及び検査 総括責任者の印	実施者 責任者
----------------------	---------

## 年次検査記録

実施日	年	月	日
責任者			
<small>試験結果に相当する検査の項による内容は、検査結果の項目に月次検査項目の検査の結果。</small>			
問題点			
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
問題点の発生年月日及び 処置担当者			
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			

- 点検委員は前頁の点検基準を参考に行ってください。
- 点検の頻度は各事業所で独自に日時を決めて下さい。
- 左記表中の各部品の点検の結果、下表の該当する点検内容の記号を書き込んで下さい。
- 点検の結果、各部品に1つでも×の項目があった場合、使用は出来ません。×の項目を修理してから再度点検を行い総合判定で○となつた場合、使用を再開して下さい。
- クレーン等安全規則の、第35条に準じて、巻き上げ装置、ワイヤロープ及びチェーンの損傷の有無、フック等の吊具の損傷の有無等の定期自主点検を行ってください。

記号	点検内容
△	点検して異常がなかった。
T	締め付け差出し異常なし
L	注油して異常なし
C	清掃して異常なし
O	部品を交換して異常なし
X	使用限界を超えている

クレーン等安全規則第38条は第21条の括弧により定期自主点検の記録は3年間以上保存されていなければなりません。

クレーン等安全規則第34条の規定によりクレーンを設置後、1年以内ごとに1回、定期に自主点検を行わなければなりません。

株式会社 **スーパーツール**  
<https://www.supertool.co.jp/>



- |        |           |                                 |                     |                  |
|--------|-----------|---------------------------------|---------------------|------------------|
| □本社・工場 | 〒599-8243 | 大阪府堺市中区見野山158番地                 | TEL.072-236-5521(代) | FAX.072-236-5785 |
| □大阪支店  | 〒599-8243 | 大阪府堺市中区見野山158番地                 | TEL.072-236-5526(代) | FAX.072-236-3817 |
| □東京支店  | 〒142-0041 | 東京都品川区戸越3丁目4-18<br>ゴールドステージビル4F | TEL.03-5750-2341(代) | FAX.03-5750-2347 |
| □名古屋支店 | 〒460-0026 | 名古屋市中区伊勢山1丁目2-4                 | TEL.052-323-0701(代) | FAX.052-323-0720 |
| □札幌    | 〒003-0029 | 札幌市白石区平和通3丁目北4-20               | TEL.011-864-3581    | FAX.011-864-3590 |
| □仙台    | 〒984-0831 | 仙台市若林区沖野2丁目8-5                  | TEL.022-294-1922    | FAX.022-285-1513 |
| □新潟    | 〒950-0855 | 新潟市東区江南2丁目6-2                   | TEL.025-287-5353    | FAX.025-287-6003 |
| □北関東   | 〒337-0004 | さいたま市見沼区卸町2丁目6-9                | TEL.048-682-5000    | FAX.048-682-5059 |
| □広島    | 〒733-0012 | 広島市西区中広町2-14-27                 | TEL.082-293-5570    | FAX.082-293-5531 |
| □福岡    | 〒812-0016 | 福岡市博多区博多駅南3-10-23               | TEL.092-431-1897    | FAX.092-431-1909 |